

「つながるプロジェクト」

わかあゆ学級担任

今年度、わかあゆ学級では、調布市文化・コミュニティ振興財団の芸術振興事業「つながるプロジェクト」に参加し、音楽ワークショップユニット「おとみっく」のアーティストの方々と音楽の学習を行いました。

12～2月にかけて全5回のプログラムで、世界の国の伝統的な曲を取り上げ、音楽づくりを行いました。ピアノ、バイオリン、木・金管楽器、打楽器など、多様な楽器の音色を間近に感じ、子どもたちは興味を高めていました。アーティストの方々と楽しく関わりながら、子どもたちのアイデアに合わせて即興で奏でられる音楽に、大人も子どもも引き込まれていきました。一人一人の自由な発想が広がったり深まったりしながら、それぞれの曲に合わせて動きやリズム、歌詞が出来上がり、世界に一つだけのわかあゆ学級ならではの音楽が完成しました。

最終回では、保護者の方々に参観していただき、学習の成果を見ていただきました。自分らしく音楽に関わり、楽しそうな姿をご覧いただけたと思います。

今回の学習を通して、担任としても子どもたちの意欲的な姿に驚かされる場面が多々ありました。楽しみながら学ぶことが、子どもたちの成長に大きく関わっていくことを実感しました。なかなか今回のような特別な機会を設けることはできませんが、こうした見取りを生かし、今後の学習にもつなげていきたいと考えています。今後とも保護者の方々の御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

図画工作科より

図画工作担当

図画工作科では、子どもの一人一人の思いを大事にして作品づくりを行っています。今年度は、4年生までは身の回りの事物から発想を広げることを中心にして、作品づくりに取り組みました。5、6年生では、素材の特徴や偶然性を楽しみながら身の回りの事物と結び付け、表したいことを見つけて表現する活動や抽象的に表現する活動に取り組みました。

授業の中で子どもたちは、「どうやってつくったの?」「すてきだね」とお互いの表現のよさを認め合ったり、良いところを取り入れたりする学び合いの関係を築いています。図画工作科は、形と色で自分の感じたことや思いを表すことを目標にしている教科です。子どもたちは、「自分の色」を追求し制作を進めていました。空の青と一言と言っても、子どもによって想像する色彩は異なります。その子の思い描いた情景やその時に感じたことを表すには、色彩が大事な役割を担います。どの子も、色の美しさを味わい、色をつくる喜びを感じながら、一人一人の思いを作品に表していました。

今年度も、子どもたちの豊かな表現を支える、道具や材料のご用意等を通してご協力いただきありがとうございました。また、子どもたちが安全に怪我なく活動できるように見守りに来てくださった保護者の皆様、ありがとうございました。